

令和7年度政府予算等に関する要望・提言活動について

上記のことについて、関係省庁等に対して、下記により要望・提言活動を行いますのでお知らせします。

記

1. 県選出国會議員への要望・提言説明会

日 時：6月11日（火）8時～9時30分
場 所：都市センターホテル6階 606会議室
（東京都千代田区平河町2丁目4-1）
出席者：県選出国會議員
知事、県議會議長、関係部局長

2. 要望・提言活動

日 時：6月11日（火）～6月12日（水）
出席者：知事、県議會議長、関係部局長

3. 要望・提言項目

別紙のとおり

（お問い合わせ先）

企画振興部 政策企画課 政策企画班

担当：渕、幸 電話：097-506-2031

※現地取材を希望される場合は、下記へ連絡をお願いします。

大分県東京事務所 行政課 担当 大西

連絡先 03-6771-7011

090-5753-7754（公用携帯）

令和7年度政府予算等に関する要望・提言 項目一覧表

項目	要望・提言先	所管部局	
1	地方財源の確保・充実について	総務省、財務省	総務部
2	東九州新幹線等の整備について	国土交通省、財務省	企画振興部
3	地域公共交通の維持・確保について	国土交通省	企画振興部
※ 4	物流の維持・確保及び商慣行の改善について	国土交通省	企画振興部
※ 5	子育て施策に対する十分な予算措置について	こども家庭庁	福祉保健部
※ 6	高齢者・障がい者支援施策に対する十分な財源措置について	厚生労働省	福祉保健部
7	賃金と物価の好循環の実現について	厚生労働省、経済産業省、中小企業庁	商工観光労働部
8	グリーン・コンビナートおおいた推進構想の実現について	経済産業省、資源エネルギー庁、国土交通省	商工観光労働部 土木建築部
9	アジア初の水平型宇宙港の実現について	内閣府(宇宙政策)、外務省、国土交通省	商工観光労働部
※ 10	次世代空モビリティの活用による地域課題解決について	経済産業省、国土交通省	商工観光労働部
11	持続可能な観光の振興について	国土交通省、観光庁	商工観光労働部 企画振興部
12	農業の成長産業化に向けた農業農村整備の計画的な実施について	農林水産省、財務省	農林水産部
13	大野川上流地区の農業振興に向けた農業用水の安定供給について	農林水産省	農林水産部
14	国土強靱化に向けた農林水産施設の整備について	内閣官房(国土強靱化)、農林水産省、財務省	農林水産部
15	大径材活用と再造林による循環型林業の確立について	農林水産省、財務省	農林水産部
16	強靱な県土づくりのさらなる推進について	内閣官房(国土強靱化)、国土交通省	土木建築部 生活環境部
17	未来へつながる道路ネットワークの充実について	国土交通省	土木建築部
18	九州の東の玄関口「別府港・大分港」の機能強化について	国土交通省	土木建築部
19	安心元気・未来創造に向けた社会資本整備予算の確保について	内閣官房(国土強靱化)、財務省、国土交通省	土木建築部
※ 20	ICTを活用した遠隔教育等のさらなる充実について	文部科学省	教育委員会
※ 21	「教育県大分」の創造に向けた学校の体制確保について	文部科学省、スポーツ庁、文化庁	教育委員会

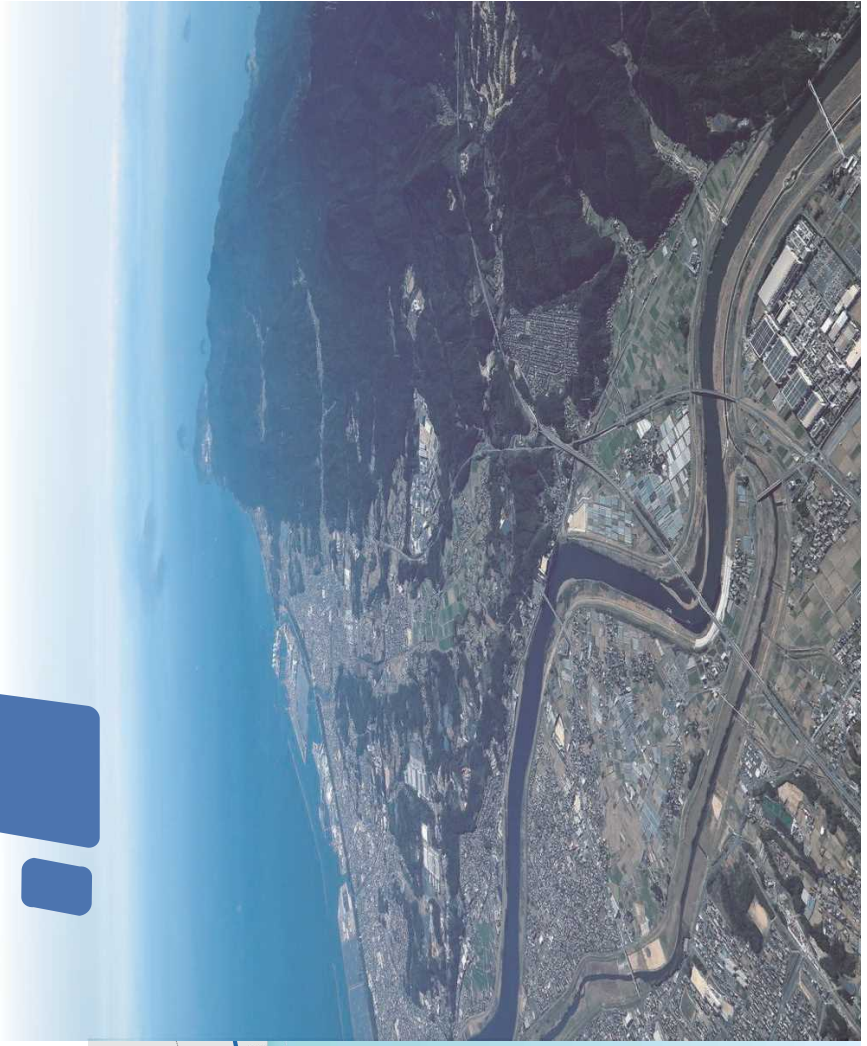
* 新規要望・提言項目(新規6)

九州・四国・関西
ともに未来を創造する
路を描こう

大分

Oita Interregional Transport Network Plan

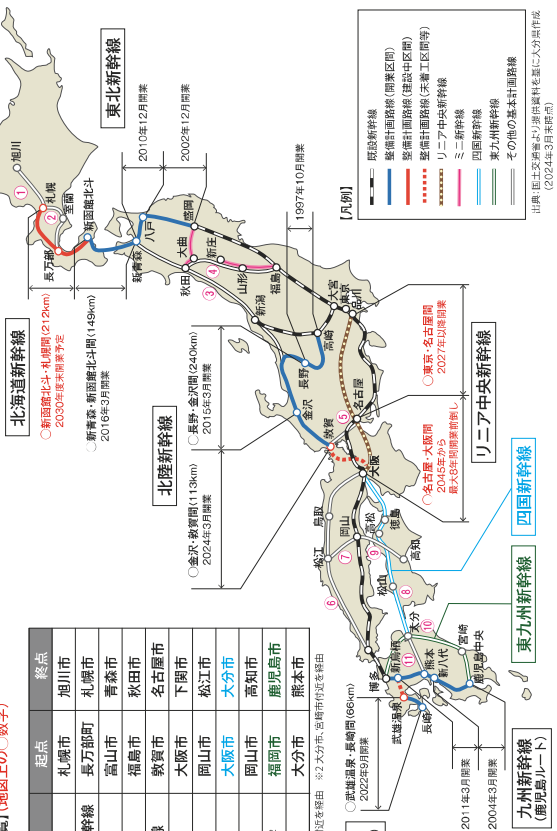
大分県 広域交通ネットワーク構想



全国の新幹線鉄道計画等の状況

【基本計画路線の一覧】(地図上の○数字)
※1は、基本計画上の経由地

路線	起点	終点
① 北海道新幹線	札幌市	旭川市
② 北海道南回り新幹線	長万部町	札幌市
③ 羽越新幹線	富山市	青森市
④ 奥羽新幹線	福島市	秋田市
⑤ 北陸・中京新幹線	敦賀市	名古屋
⑥ 山陰新幹線	大田市	下関市
⑦ 中国横断新幹線	岡山市	松江市
⑧ 四国横断新幹線	岡山市	高知市
⑨ 九州新幹線※1	福岡市	鹿児島市
⑩ 九州横断新幹線	大分市	熊本



注：東北支那並より開業材料を輸入し大分県内作
(2024年3月開業)

九州・四国の高規格道路の整備状況



問い合わせ
大分県 企画振興部 交通政策局
交通政策企画課
TEL 097-506-2155
大分県 土木建築部 道路建設課
TEL 097-506-4573

広域交通ネットワーク(新幹線、高規格道路)が整えば

日本全体に大きな効果

九州と本州と結ぶ陸上ルートについて、これまでの関門海峡1本のみのルートに豊予海峡ルートが加わると、国土軸のダブルネットワークが形成され、日本全体の国力強化につながります。

関門海峡の
年間利用状況
(2022年)

自動車2,274万台^{※1}

鉄道2,189万人^{※2}

橋+トンネル
新幹線+在来線

日本中央回廊の形成
【スーパーメタリジョン構想】
リニア中央新幹線の開業(2045年から最大8年間前倒し)
により東京~名古屋~大阪が約1時間

中国 725万人

大阪 近畿 2,054万人

四国 370万人

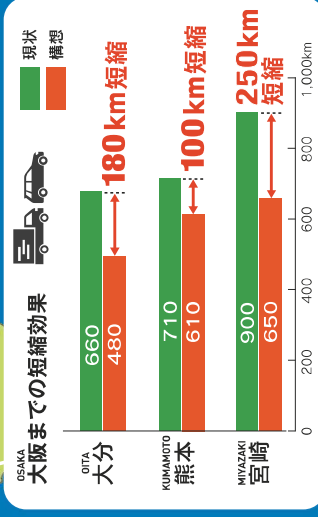
九州 1,278万人

豊予海峡の
年間利用状況
(2022年)

フェリー4航路

旅客 99万人

自動車 54万台



期待される効果

1 九州の強みのさらなる強化

- ◎ 半導体、自動車、農林水産物などの生産性向上・成長力強化
- ◎ 合計特殊出生率が高い九州から日本の人口減少に歯止め(全国トップ10に7県)

2 圏域外(関西や中国、四国地方)との交流促進

- ◎ 関門海峡と豊予海峡ルートのダブルネットワーク形成による人流・物流の増大、サプライチェーンの強靱化、3本の本州四国連絡橋を活かした広域観光圏の創出

3 災害に強い国土づくり

- ◎ 南海トラフ地震や頻発・激甚化する気象災害などへの強靱化(レジリエンス)、災害発生時の代替経路(リダンダンシー)の確保

※1 NEXCO日本提供
 ※2 JR東日本「区間平均乗車人員」
 および「乗車人員」(2022年度)
 ※3 人口は令和2年度国勢調査

九州の強み

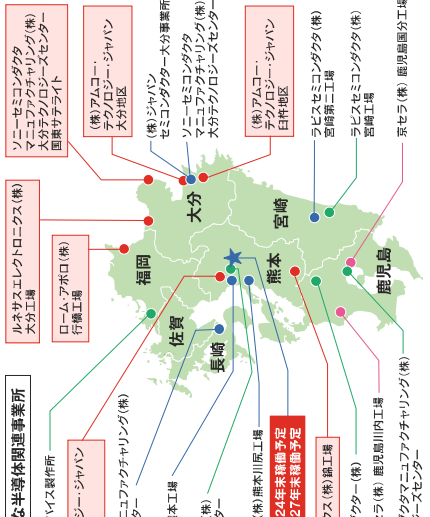
九州は、人口・面積・GDPなどで全国の約1割(沖縄を除く)を占めることから「1割経済」と言われています。一方、産業別の比較では集積回路(IC)や農産物輸出は全国シェアが大きく、九州の強みと言えます。



「新生シリコンアイランド九州」の実現

九州地方知事会・九州地域経済会議にて宣言

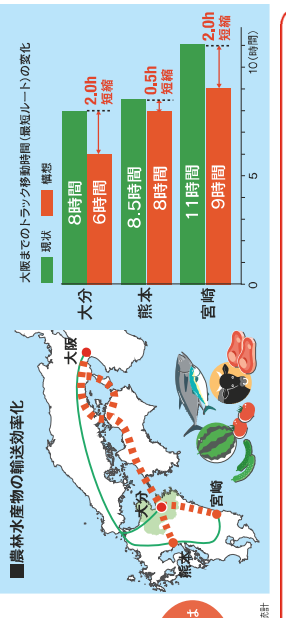
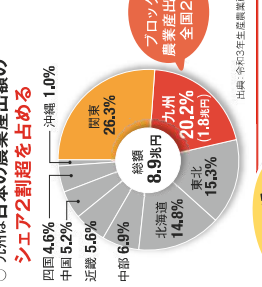
- 九州は日本の集積回路生産金額のシェア44.6%を占める
- 九州各地に半導体製造の「前工程」工場と「後工程」工場がバランスよく立地
- 中九州横断道路など九州の高規格道路、さらにその先の豊予海峡ルートがつかげば、企業活動に大きく影響



半導体のサプライチェーン強靱化など日本の経済安全保障に寄与

「フードアイランド九州」のさらなる推進

九州地方知事会・九州地域経済会議にて宣言



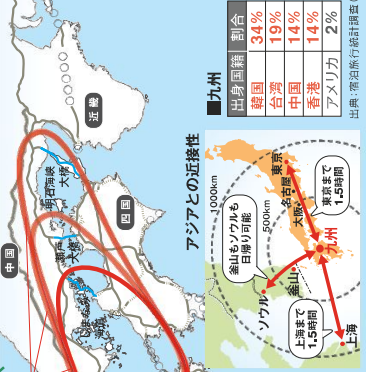
九州の農林水産物の新たな市場・販路開拓

輸送距離・時間が短縮

トラックドライバーの拘束時間の削減、人手不足への対応

3本の本州四国連絡橋のさらなる活用

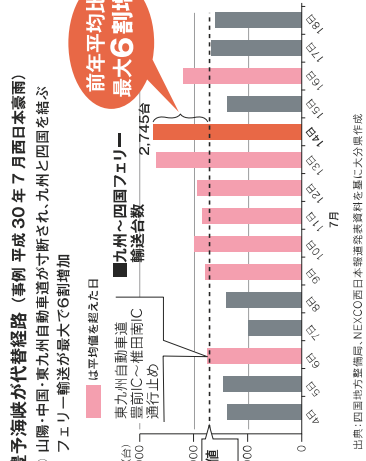
新たな広域観光ルートの創出



3本の本州四国連絡橋を活用した広域観光周遊ルートが形成

国内旅行やインバウンドのさらなる拡大

リダンダンシーの確保



検討課題

地域経済・人流への影響

物流への影響

技術的な課題

機運醸成

○求めらるる高い技術水準

○工法選定の必要性(複雑な地質への対応、建設費削減)

○国家プロジェクトとしての国民のコンセンサス

○整備効果や技術的課題、国土強靱化などに関する情報発信

○関係機関との連携